

## 設立趣意書

一般社団法人 熊本外科研修教育推進機構

代表理事 岩槻 政晃

### 【趣旨】

現在、日本では超高齢社会の進展に伴い、がんの罹患率が上昇しており、日本人の2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで死亡すると言われています。特に、消化器がんの罹患率は高く、その主要な治療法である外科手術の重要性が一層、高まっています。近年、がんに対する外科治療は多様化・高度化しており、腹腔鏡手術やロボット手術など、専門的な技術を要する手術が増加しているため、これらを担う専門性の高い外科医（specialist surgeon）の育成が急務となっています。

また、消化器に関連する外傷外科や救急医療の分野でも目覚ましい進歩があり、これらの領域で活躍できる高度な専門知識と技術を持った外科医の養成が強く求められています。同時に、地域医療を支え、その維持と発展に寄与するためには、幅広い初期治療に対応できる一般外科医（general surgeon）の育成も不可欠です。こうした外科医の育成は、今後の地域医療とがん治療の発展において重要な役割を果たすことが期待されています。

しかしながら、外科医の不足は深刻な問題となっており、2024年から始まった医師の働き方改革により、外科領域での診療活動には大きな制約が生じる可能性があります。

す。このような状況の中で、医療者と患者の双方がこれまでの意識を変え、効率的かつ質の高い新たな医療の形を模索することが求められています。

こうした背景を踏まえ、私たちは「一般社団法人 熊本外科研修教育  
推進機構（Kumamoto Surgical Training and Education

Promotion Organization, K-STEP）」を設立し、これらの課題に対応するための取り組みを開始いたしました。本プロジェクトは、熊本大学消化器外科学教室を中心に、外科研修および教育の充実を図り、次世代を担う若手外科医の育成と医学研究の推進を支援することを目的としています。これにより、地域医療の質を向上させるとともに、国内外における外科医療の発展にも貢献したいと考えています。持続的に医療の質を高めていくため、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【主な活動内容】

- 1 消化器外科学に関する生涯教育の推進と専門医の育成
- 2 国際交流・留学プログラムの推進
- 3 国内外の研究会の開催、共同研究の奨励、消化外科学に関する研究・調査等の推進
- 4 国民および医療従事者への診断・治療に関する普及
- 5 国内外の消化器外科関連学会における研究発表の支援

**【学内役員】**

代表理事      岩槻 政晃

理事    吉田 直矢、近本 亮

**【問い合わせ先】**

〒860-8556

熊本県熊本市中央区本荘1丁目1番1号

熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器外科学

Tel: 096-373-5212

Fax: 096-371-4378